

第2部課程第168期（平成25年10月22日～12月27日）

課 目 名	5-4 公会計改革とこれからの自治体の財政運営
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	関西学院大学 大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫 1960 年 大阪市の生まれ 1983 年 関西学院大学経済学部卒業 1997 年 博士（経済学） 助手、助教授などを経て 1998 年から教授 2008 年から現職
ね ら い	地方分権の進展に伴って、地方においても適切な財政運営を行い、情報開示を通じて住民に対する説明責任を果たすことが求められている。 本講義では、我が国の公会計制度の課題や地方公共団体における公会計制度改革の取組を紹介するとともに、今後の更なる改革とこれからの自治体の財政運営のあり方について、理解することをねらいとする。
講 義 概 要	次の諸点について解説する ①現金主義会計と政府財政の統制に関する考え方 ②現金主義会計と建設公債主義の組み合わせが持つ意味 ③現金主義会計と発生主義会計の関係 ④わが国における公会計の整備と地方公営企業会計の改革 ⑤3 モデルの並立とその統一 ⑥公会計改革の活用について－管理会計と財務会計 ⑦自治体財政健全化法の含意
受講上の注意	やや高度な内容なので、あらかじめ、拙著「公会計改革の財政学」（日本評論社）で予習をすることが望ましい。また聴講にあたっては、細かい言葉の定義にこだわることなく、全体的な流れを重視して聞いていただきたい。
使 用 教 材	小西砂千夫「公会計改革の財政学」 日本評論社
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし